

浦安市多文化共生に関する意識調査結果

令和7年（2025年）3月

浦安市

目次

1	調査の目的	1
2	調査対象・方法	1
3	調査対象者数・回収率	1
4	調査結果の見方	1
5	調査結果	2
	回答者属性	2
	日本語について	4
	情報の入手について	9
	相談先や支援者について	13
	地域社会への参加について	17
	災害対策について	21
	子どもの教育について	23
	浦安市について	26
6	まとめ	28

1 調査の目的

市では、令和3年度に策定された「浦安市多文化共生推進プラン」に掲げる基本理念の実現に向け、3つの施策方針に基づく事業を5か年計画で全市的に取り組んできました。

令和4年度を始期とする当該プランの中間期に当たる令和6年度に、これまで取り組んできた事業について外国人市民に対する効果を検証し、必要に応じて取組内容の見直しを図ることを目的に、外国籍の市民を対象としたアンケートを実施しました。

2 調査対象・方法

本市に住民登録している16歳以上の外国籍市民に案内文を郵送し、アンケートサイトから回答してもらう方法を取りました。

言語：日本語・英語・中国語（簡体字）・韓国語・ベトナム語・ネパール語

調査期間：令和7年（2025年）1月6日～1月31日

3 調査対象者数・回収率

アンケート種別	対象者数	有効回収数	有効回収率
外国籍市民	2,449人	688人	28.09%

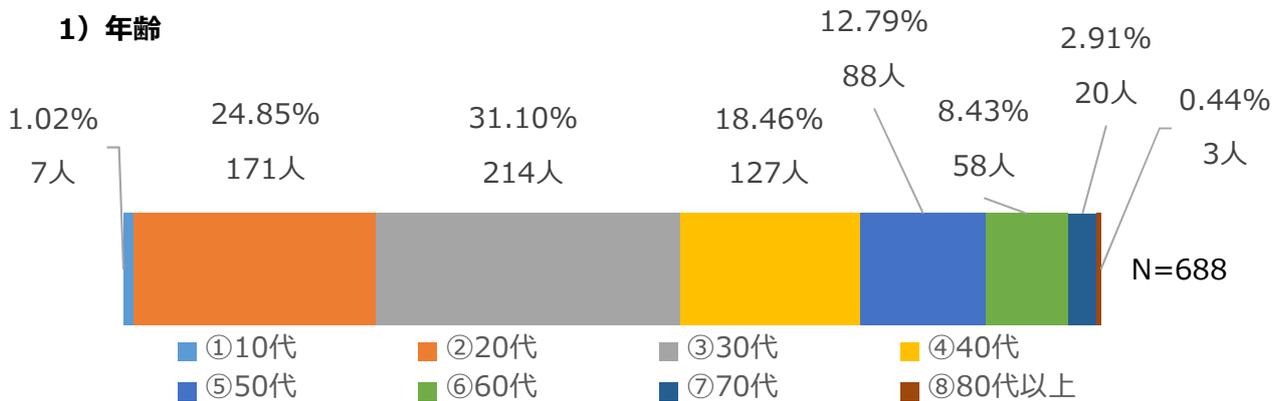
4 調査結果の見方

- アンケート集計結果は、原則として人数とパーセント（％）で表記しています。
パーセント（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記しています。
パーセント（％）の合計は、100%にならない場合もあります。
- 「N」はパーセントを算出する基数です。

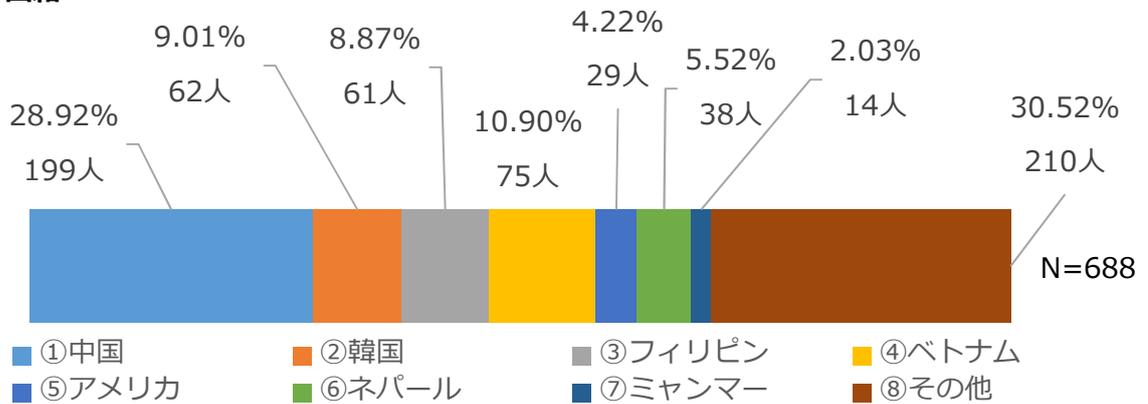
5 調査結果

【回答者属性】

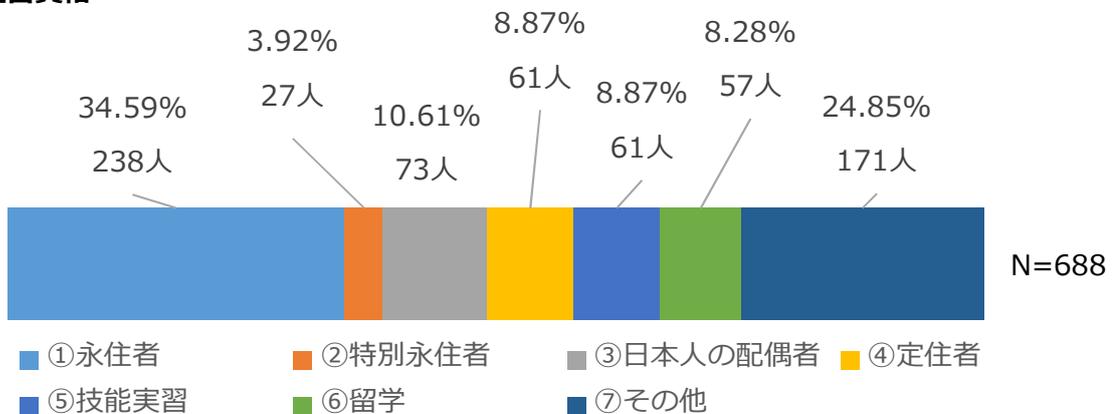
1) 年齢



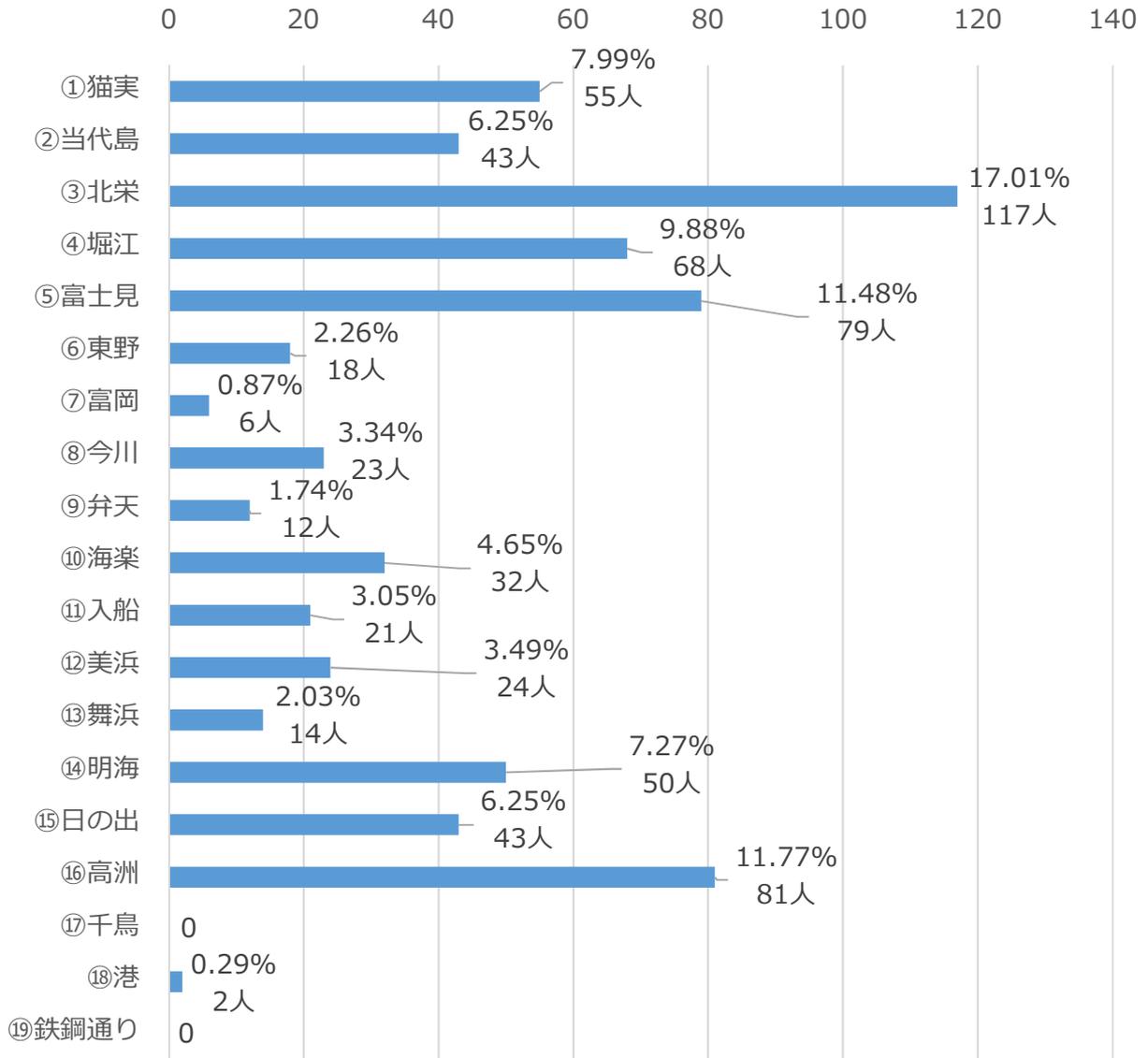
2) 国籍



3) 在留資格

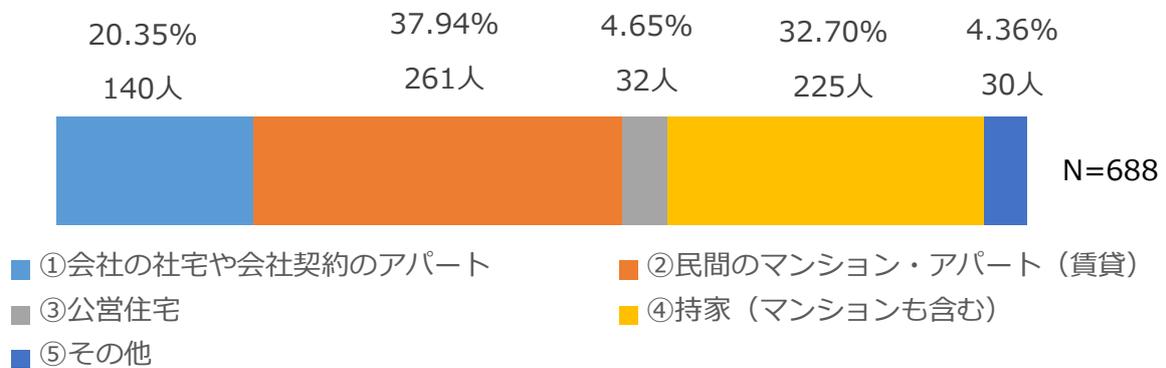


4) 居住地域



N=688

5) 居住形態

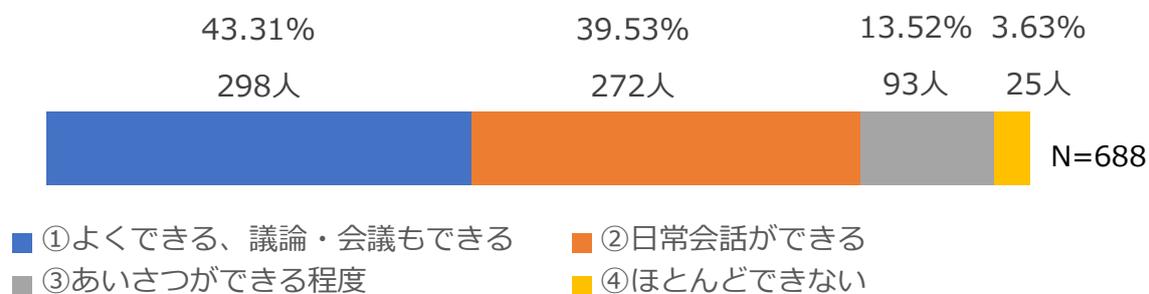


N=688

【日本語について】

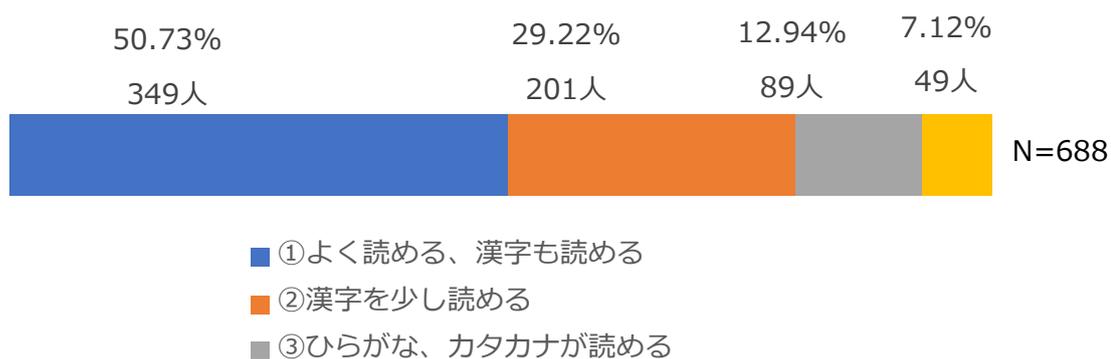
問1 あなたは、日本語をどれくらいわかりますか。

1) 日本語で会話をする



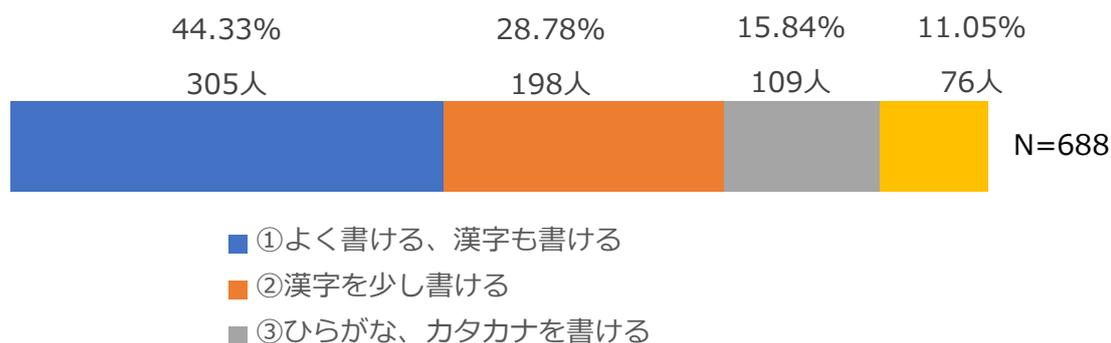
「よくできる、議論・会議もできる」と回答した方が43.31%、「日常会話ができる」と回答した方が39.53%で、ある程度日本語で会話することができる方は、合わせて82.84%だった。

2) ひらがな・カタカナ・漢字を読む



「よく読める、漢字も読める」と回答した方が半数以上の50.73%、「漢字を少し読める」と回答した方が29.22%で、ある程度日本語を読むことができる方は、合わせて79.95%だった。

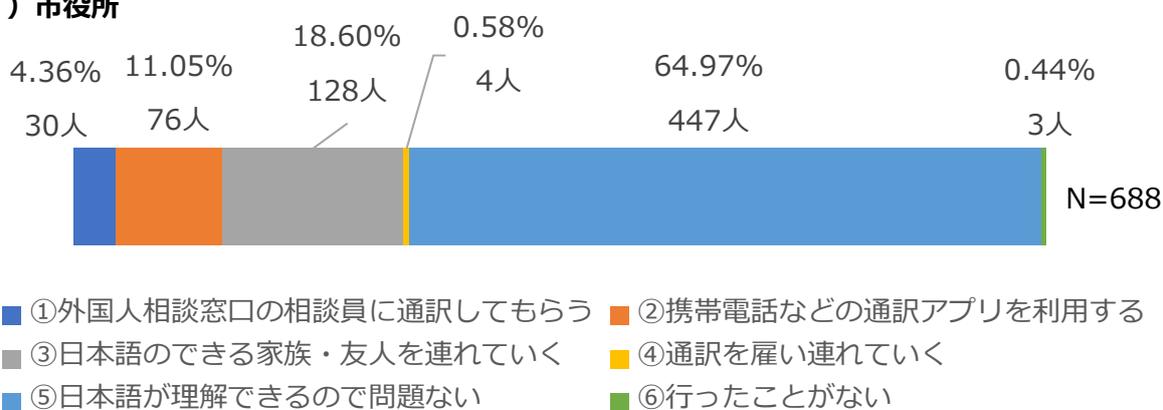
3) 日本語を書く



「よく書ける、漢字も書ける」と回答した方が 44.33%、「漢字を少し書ける」と回答した方が 28.78%で、ある程度日本語を書くことができる方は、合わせて 73.11%だった。

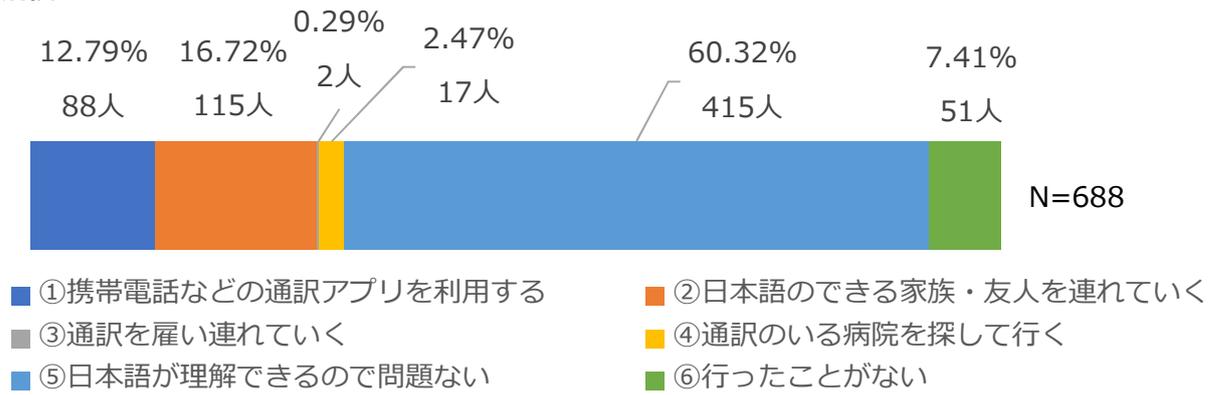
問 2 市役所、病院、学校では、どのように会話していますか。

1) 市役所



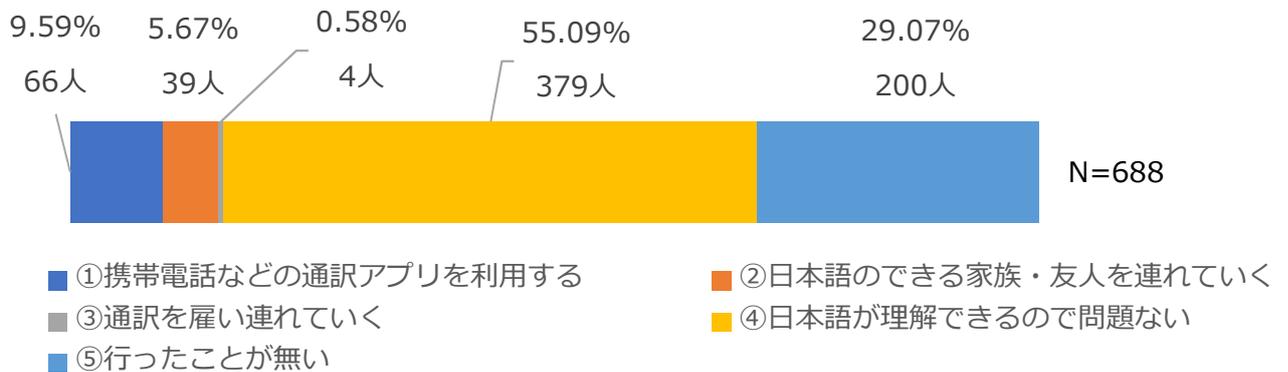
「日本語が理解できるので問題ない」と回答した方が 447 人で 1 番多く、回答者の 64.97% だった。2 番目は「日本語のできる家族・友人を連れていく」の 128 人で、18.60% だった。

2) 病院



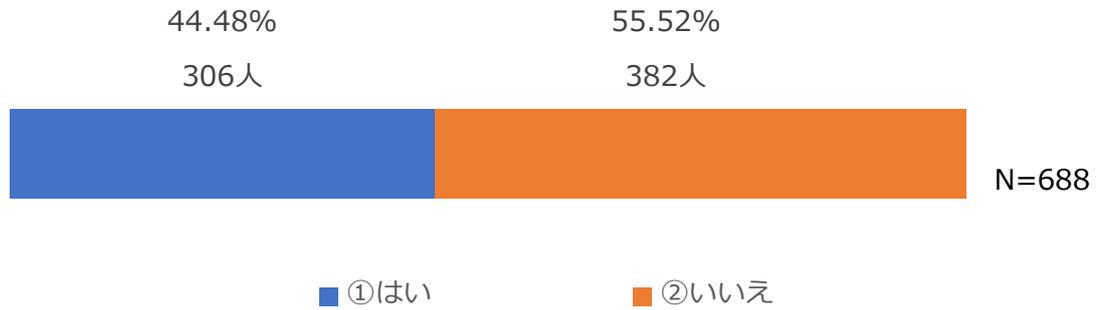
「日本語が理解できるので問題ない」と回答した方が415人で1番多く、回答者の60.32%だった。2番目は「日本語のできる家族・友人を連れていく」の115人で、16.72%だった。

3) 学校

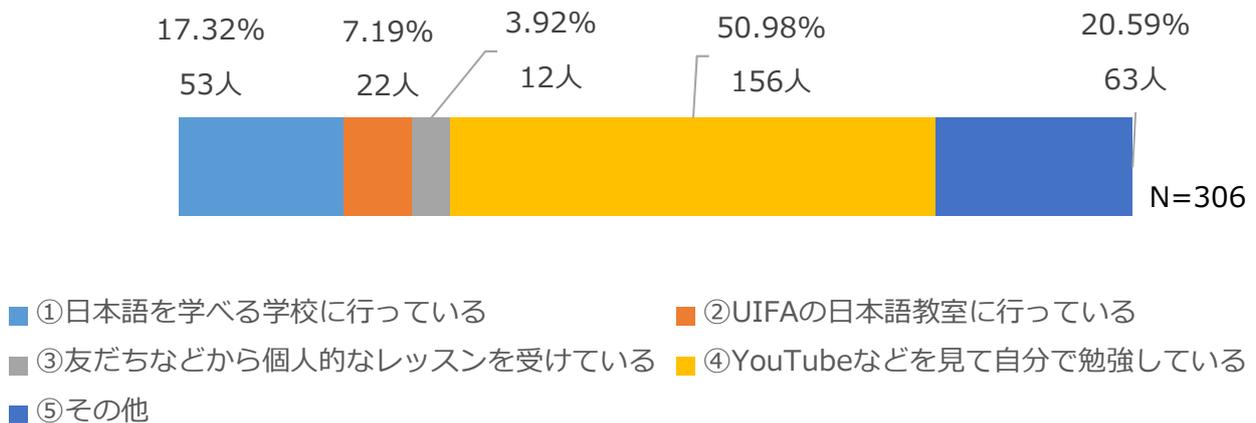


「日本語が理解できるので問題ない」と回答した方が379人で1番多く、回答者の55.09%だった。該当する方では、2番目は「携帯電話などの通訳アプリを利用する」の66人で、9.59%だった。

問3 現在、日本語を学習していますか。



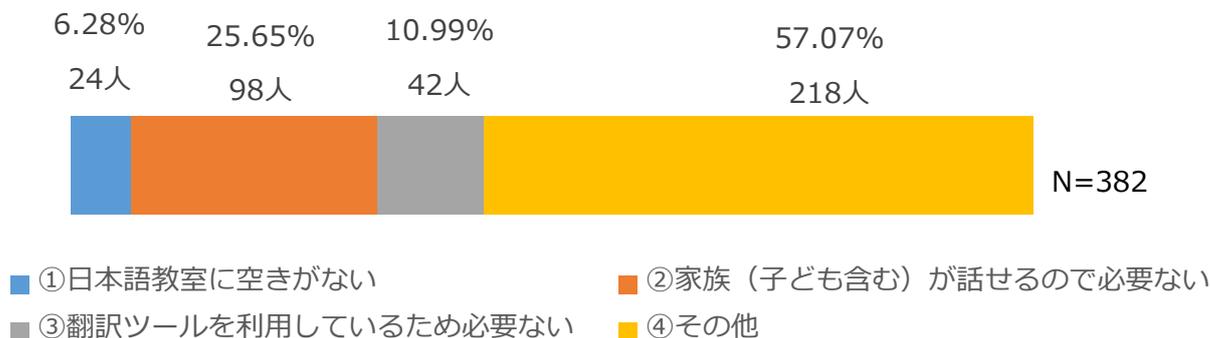
問4 問3で「はい」と答えた方：日本語はどのように学習していますか。



「YouTube などを見て自分で勉強している」と回答した方が 156 人で 1 番多く、回答者の 50.98% だった。2 番目は「その他」の 63 人で、20.59%。3 番目は「日本語を学べる学校に行っている」の 53 人で、17.32% だった。

その 他 内 容	回答数
自分で勉強	15
日本語学習アプリ	5
家族との会話	4
仕事・会社の同僚から	3
その他	8
未記入	28
合 計	63

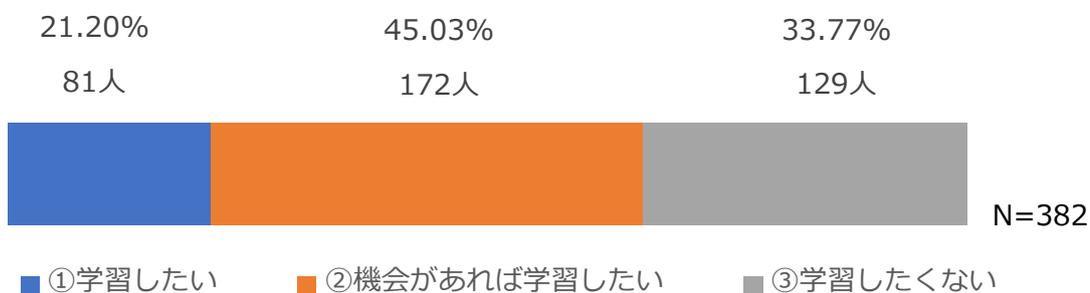
問5 問3で「いいえ」と答えた方：日本語を学習していない理由は何ですか。



その他が218人で1番多く、回答者の57.07%だった。理由としては、「日本で産まれた/育ったから」等、十分なコミュニケーションが可能で生活に支障がないという理由が多かった。

2番目は「家族（子ども含む）が話せるので必要ない」の98人で、25.65%だった。

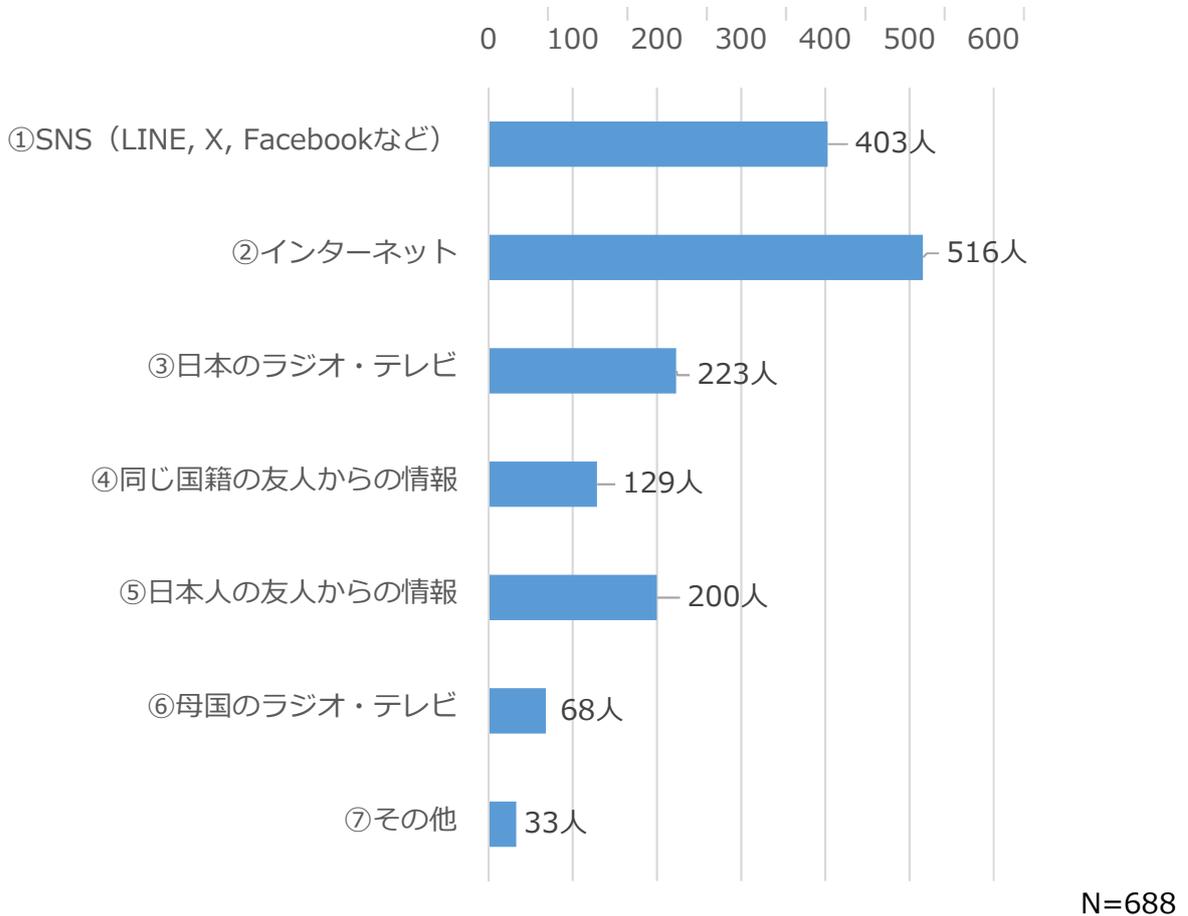
問6 問3で「いいえ」と答えた方：今後、日本語を学習したいと思いますか。



「学習したい」「機会があれば学習したい」と回答した方が、合計253人で、回答者の66.23%だった。一方、「学習したくない」と回答した方は129人で、33.77%だった。

【情報の入手について】

問7 情報はどのように入手していますか。よく利用するものを選んでください。(3つまで)

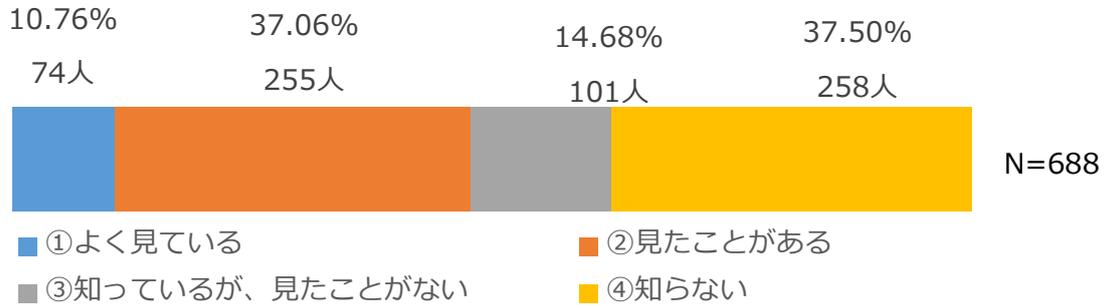


「インターネット」と回答した方が516人で1番多く、回答者の75.0%、2番目は「SNS (LINE,X, Facebook など)」の403人、58.58%で、多くの方がインターネットやSNSを利用していることが分かった。

その他では、「家族からの情報」、「新聞や社内報など」、「City News (広報うらやす)」等の回答があった。

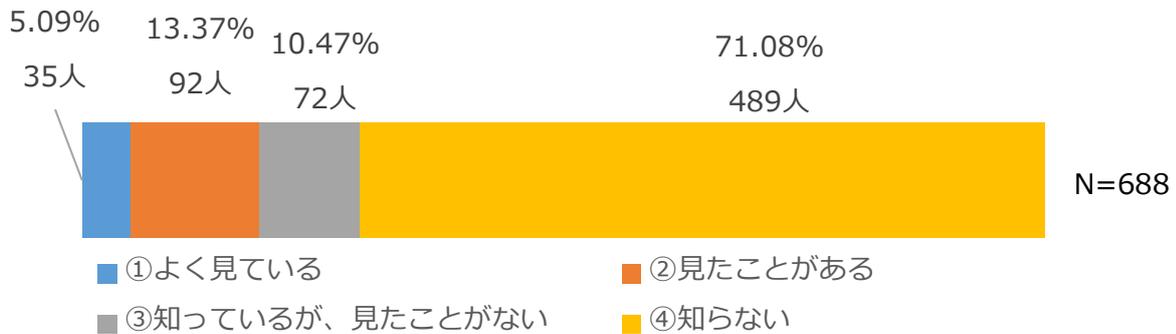
問8 市の広報誌やホームページで見たことがあるものはありますか。

紙媒体 1)「広報うらやす」



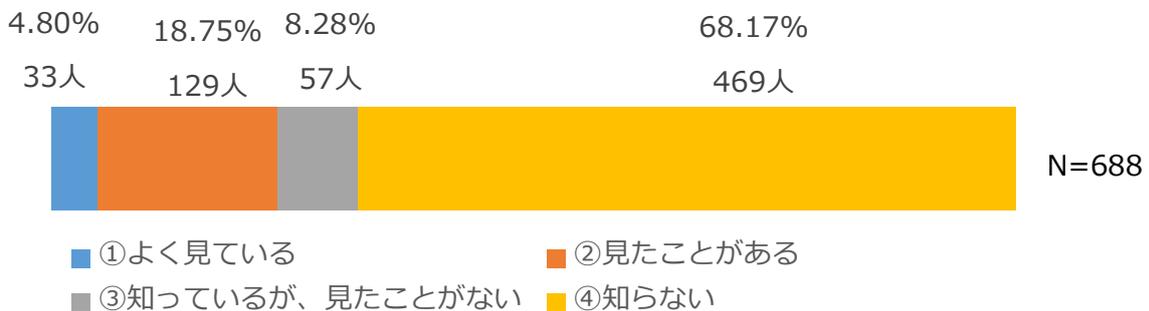
「よく見ている」「見たことがある」と回答した方が、合計 329 人で、47.82%だった。

紙媒体 2)「CityNews (広報うらやすの英語版)」



「よく見ている」「見たことがある」と回答した方が、合計 127 人で、18.46%だった。

紙媒体 3)「うらやす市のお知らせ (CityNews のやさしい日本語版)」



「よく見ている」「見たことがある」と回答した方が、合計 162 人で、23.55%だった。
 一般向けの「広報うらやす」に比べ、外国人向けの媒体の認知度が低いことが分かった。

ホームページ 1) 市ホームページ



「よく見ている」「見たことがある」と回答した方が、合計 302 人で、43.90%だった。

ホームページ 2) 市ホームページの自動翻訳



「よく見ている」「見たことがある」と回答した方が、合計 166 人で、24.13%だった。

ホームページ 3) 外国人のための生活情報

(外国人に必要な情報を、英語、中国語、やさしい日本語で簡単にまとめたページ)



「よく見ている」「見たことがある」と回答した方が、合計 166 人で、24.13%だった。

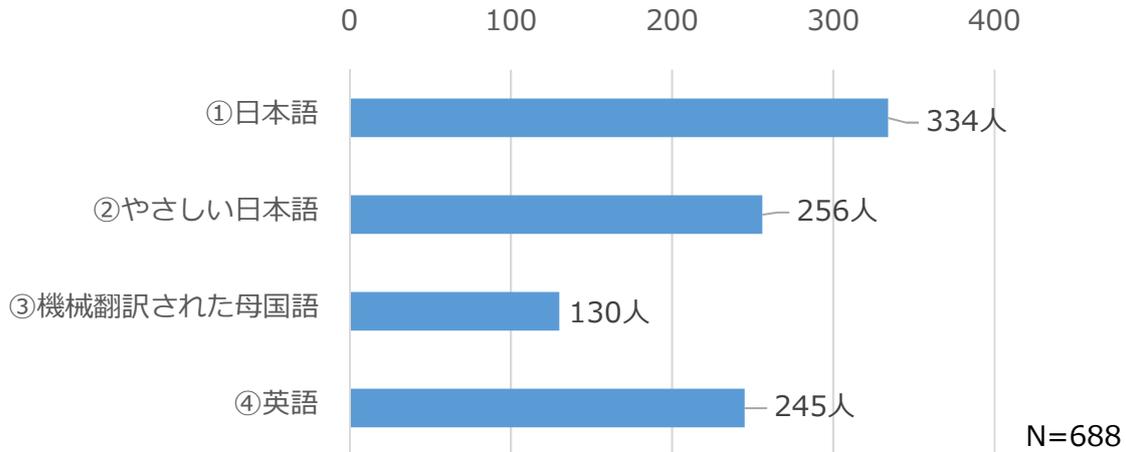
ホームページ 4) カタログポケット (「広報うらやす」の多言語翻訳サービス)



「よく見ている」「見たことがある」と回答した方が、合計 65 人で、9.45%だった。

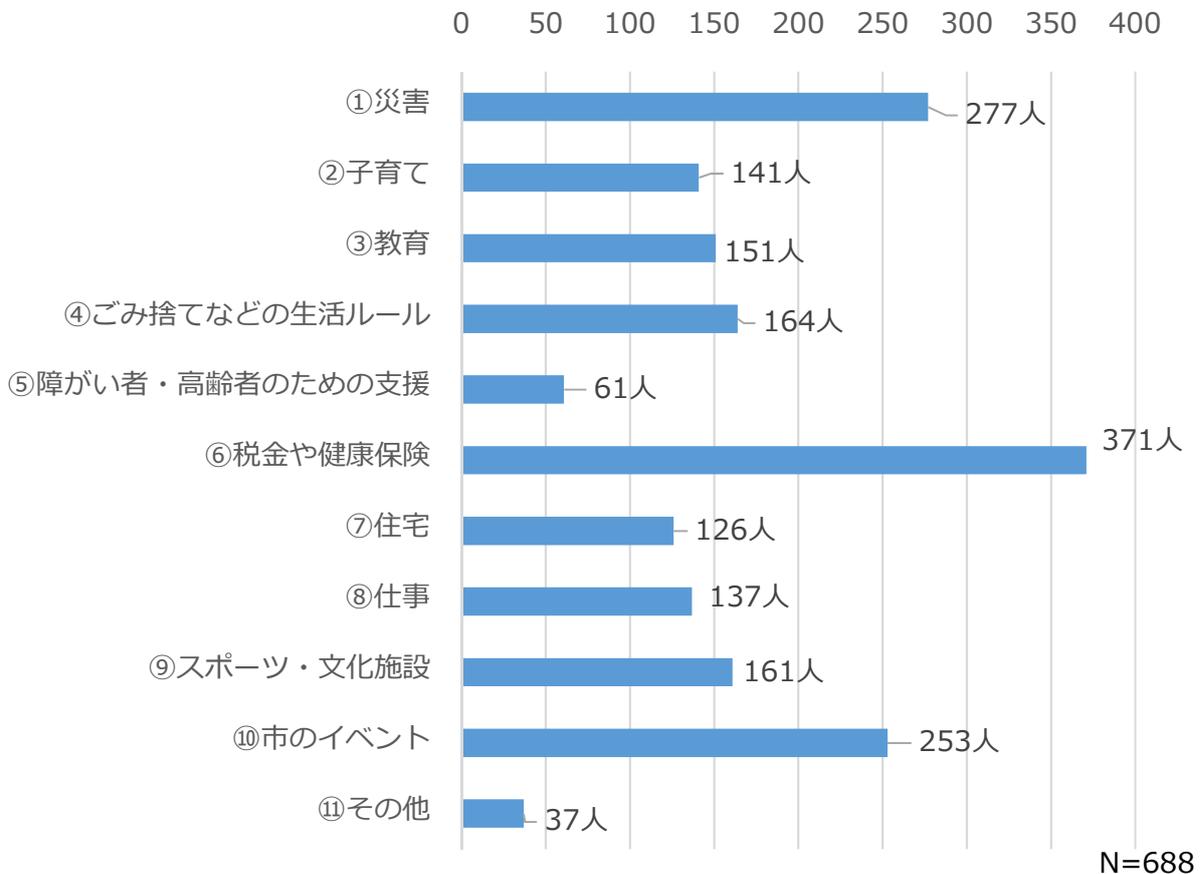
一般向けの「市ホームページ」に比べ、外国人向けのページの認知度が低いことが分かった。

問 9 市の情報を、どのような言語で発信してもらいたいですか。(複数回答)



「日本語」と回答した方が 334 人で 1 番多く、回答者の 48.55% だった。2 番目は「やさしい日本語」の 256 人で、37.21% だった。

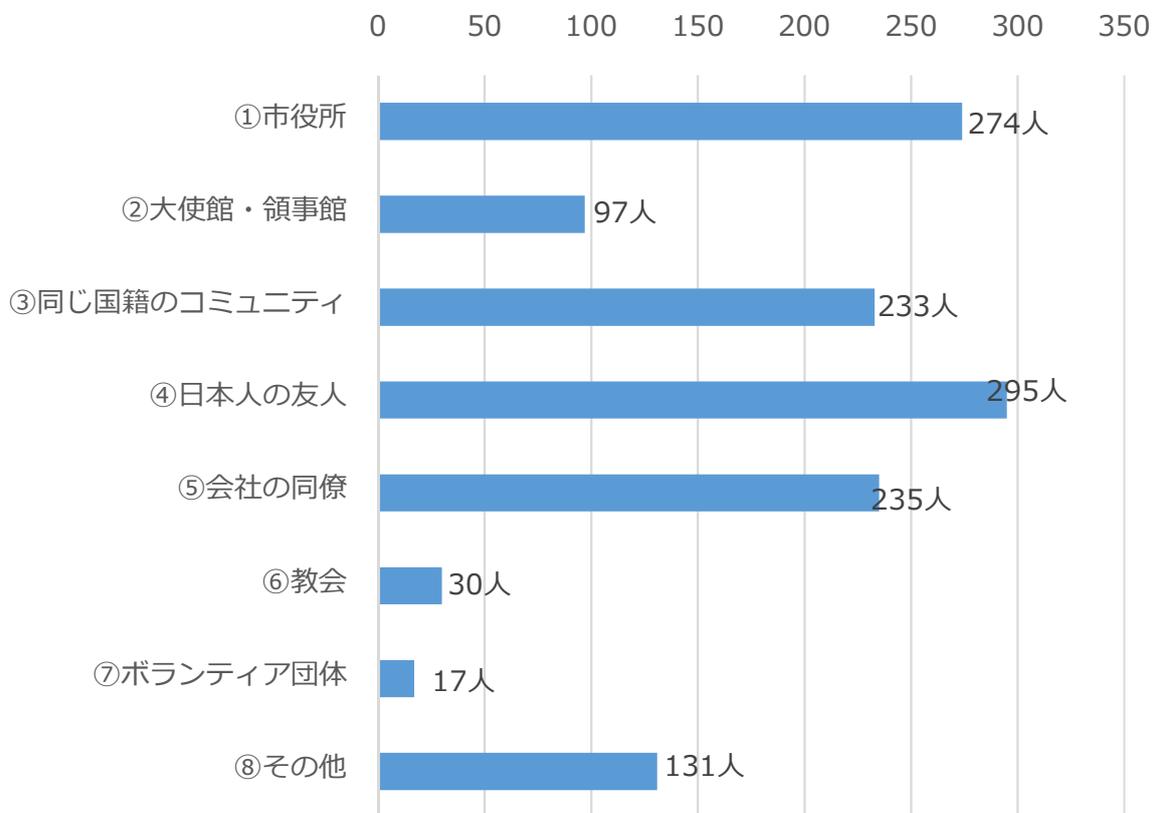
問 10 市の情報で、何について特に知りたいですか。(3 つまで)



「税金や健康保険」と回答した方が 371 人で 1 番多く、回答者の 53.92%、2 番目は「災害」の 277 人、40.26% で、3 番目は「市のイベント」の 253 人、36.77% だった。

【相談先や支援者について】

問 11 生活で困っていることがある場合、どこに相談しますか。(複数回答)



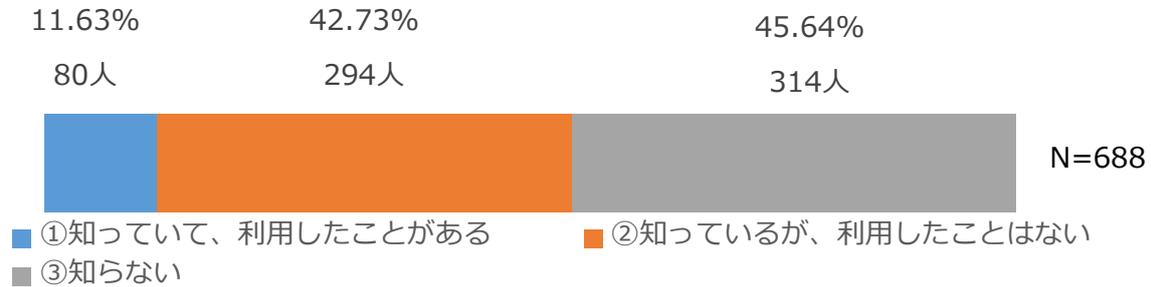
N=688

「日本人の友人」と回答した方が295人で1番多く、回答者の42.88%、2番目は「市役所」の274人、39.83%で、3番目は「会社の同僚」の235人、34.16%だった。

その他では、約半数が「家族」に相談すると回答、他には、「困りごとはない」、「インターネット」、「自分で何とかする」、「先生」等の回答があった。

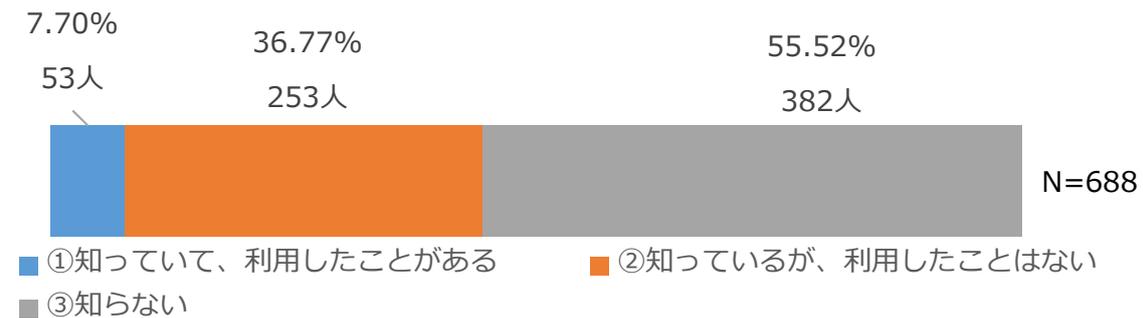
問 12 外国人相談窓口があることを知っていますか、また、利用したことはありますか。

1) 市役所



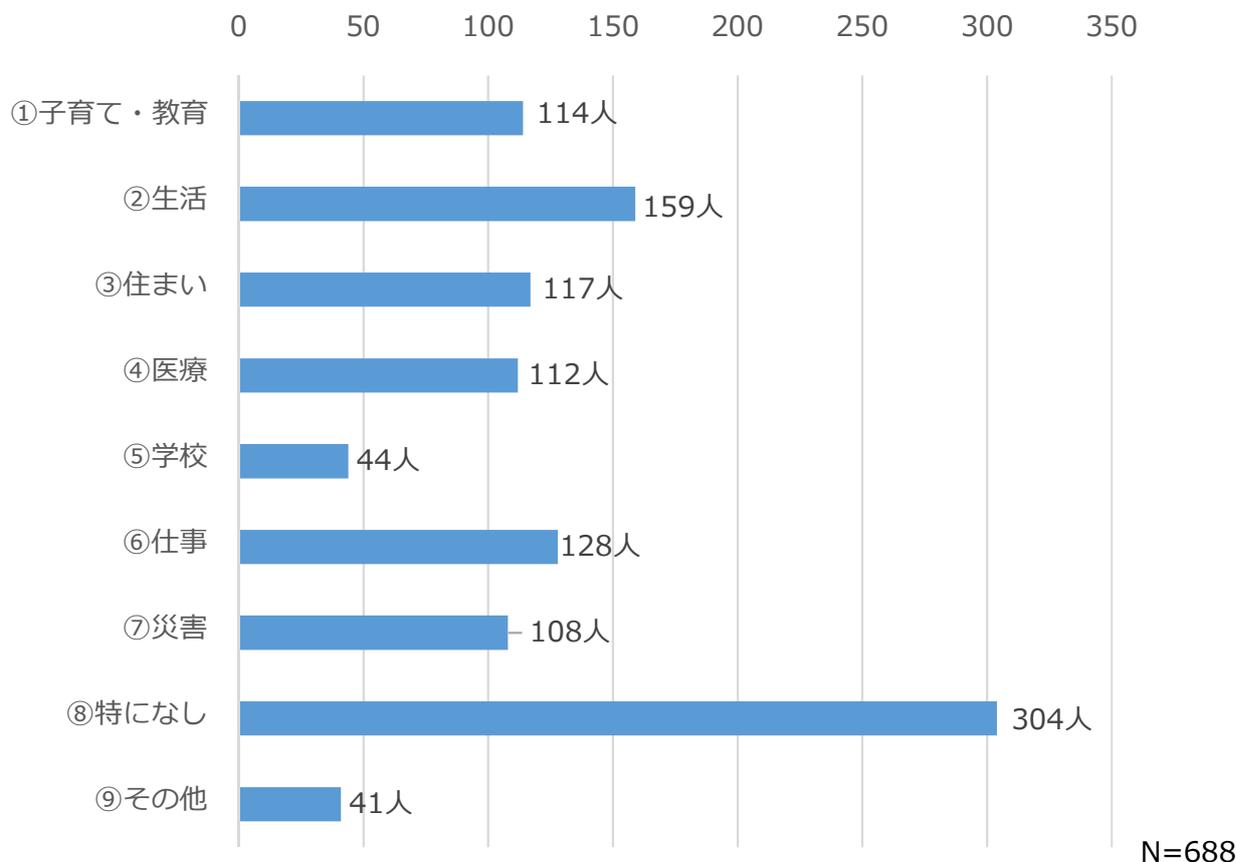
「知っている、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」と回答した方が、合計 374 人で、回答者の 54.36%となり、半数以上の方が市役所の外国人相談窓口を認識していることが分かった。

2) 国際センター



「知っている、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」と回答した方が、合計 306 人で、回答者の 44.48%が国際センターの外国人相談窓口を認識していることが分かった。

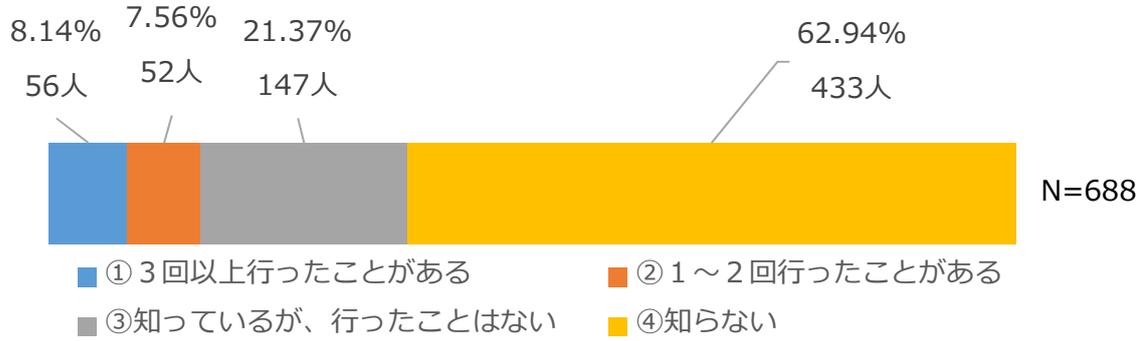
問 13 いま困っていること、心配していることはありますか。(複数回答)



「特になし」と回答した方が 304 人で 1 番多く、回答者の 44.19%、困りごとなどがある方では、1 番目は「生活」の 159 人、23.11%、2 番目は「仕事」の 128 人、18.60%、3 番目は「住まい」の 117 人、17.01%だった。

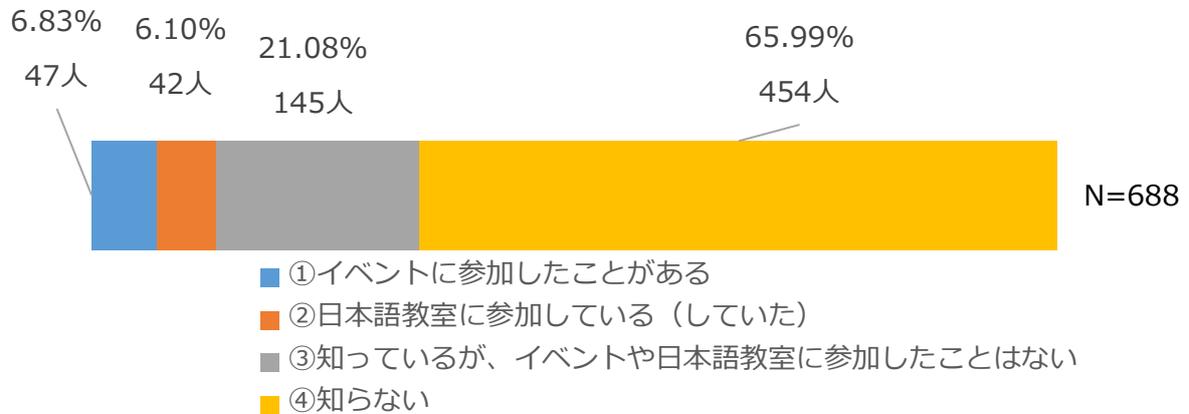
その他では、「老後」、「税金」、「日本語」、「母国にいる家族のこと」などの回答があった。

問 14 浦安市国際センター（新浦安駅前プラザマーレ内）を知っていますか、また、利用したことはありますか。



「知らない」と回答した方が、合計 433 人で、回答者の 62.94%だった。

問 15 浦安市国際交流協会（UIFA）を知っていますか、また、UIFA のイベントや日本語教室に参加したことはありますか。

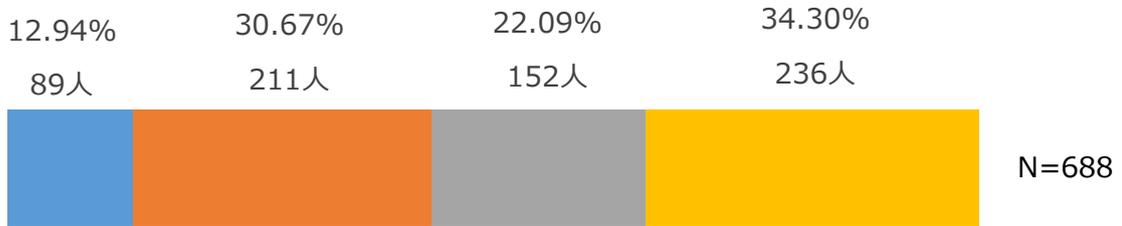


「知らない」と回答した方が、合計 454 人で、回答者の 65.99%だった。

【地域社会への参加について】

問 16 親しくしている日本人はいますか。

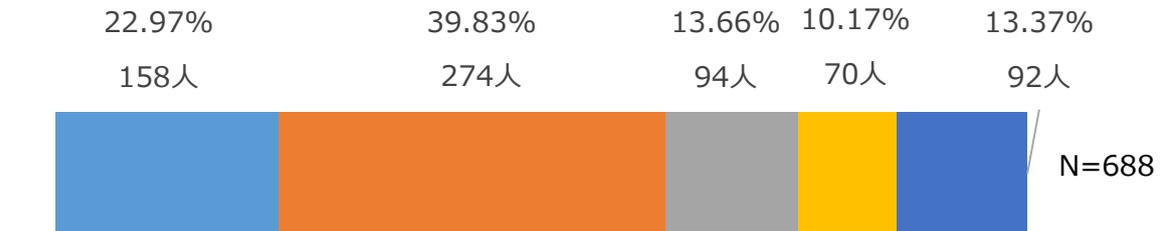
1) 近所



■ ①たくさんいる ■ ②少しいる ■ ③ほとんどいない ■ ④まったくいない

「たくさんいる」「少しいる」と回答した方が、合計 300 人で、回答者の 43.60%が、近所に親しくしている日本人がいることが分かった。

2) 職場



■ ①たくさんいる ■ ②少しいる ■ ③ほとんどいない
■ ④まったくいない ■ ⑤行っていない・該当しない

「たくさんいる」「少しいる」と回答した方が、合計 432 人で、該当する回答者の 72.48%が、職場に親しくしている日本人がいることが分かった。

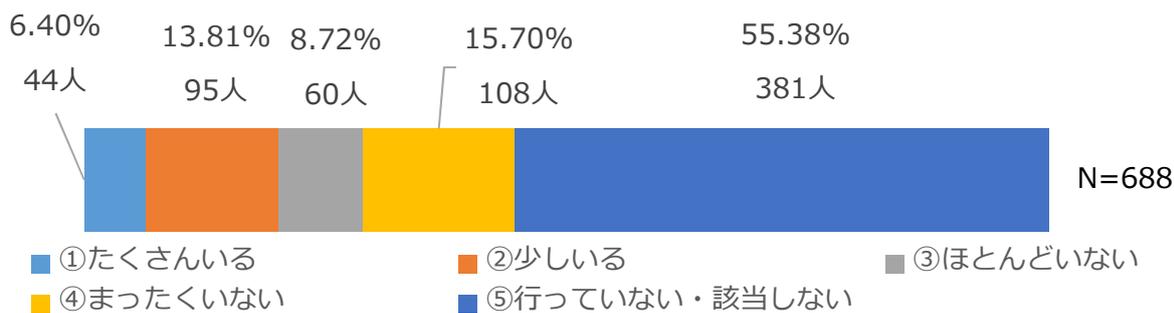
3) 大学



■ ①たくさんいる ■ ②少しいる ■ ③ほとんどいない
■ ④まったくいない ■ ⑤行っていない・該当しない

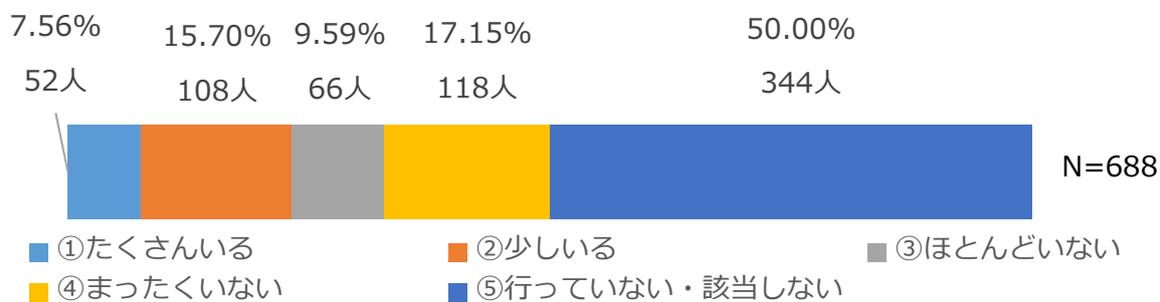
「たくさんいる」「少しいる」と回答した方が、合計 113 人で、該当する回答者の 39.51%が、大学に親しくしている日本人がいることが分かった。

4) 子どもの学校



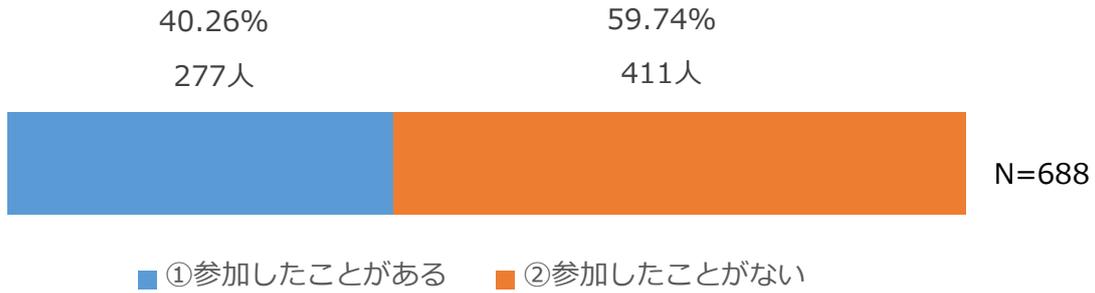
「たくさんいる」「少しいる」と回答した方が、合計 139 人で、該当する回答者の 45.28% が、子どもの学校に親しくしている日本人がいることが分かった。

5) 趣味などの教室

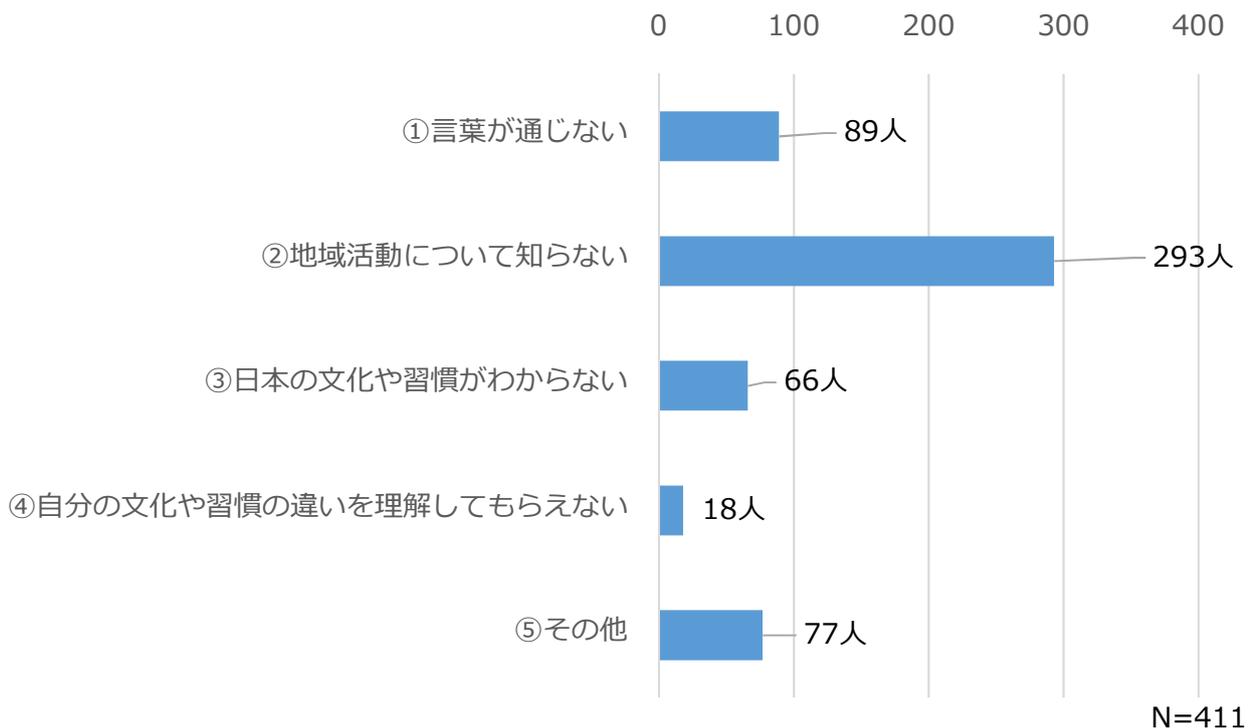


「たくさんいる」「少しいる」と回答した方が、合計 160 人で、該当する回答者の 46.51% が、趣味などの教室に親しくしている日本人がいることが分かった。

問 17 地域の活動（防災訓練、清掃活動、おまつりなど）に参加したことはありますか。



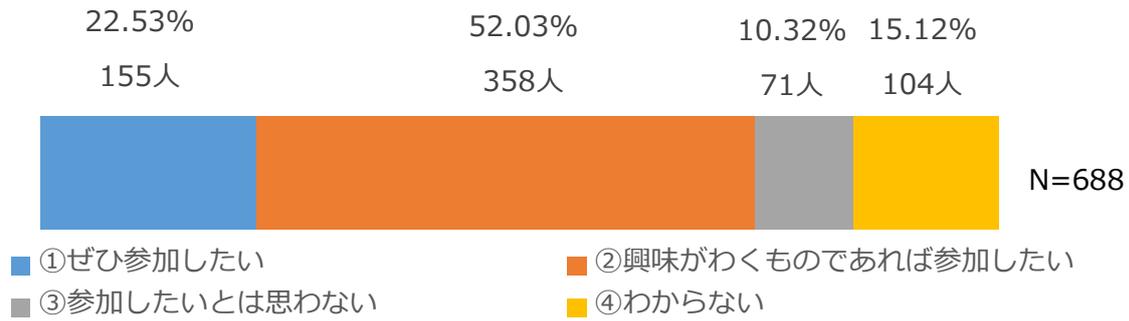
問 18 問 17 で「参加したことがない」と答えた方：地域活動に参加したことがない理由は何ですか。（複数回答）



「地域活動について知らない」と回答した方が 292 人で 1 番多く、回答者の 71.05%、2 番目は「言葉が通じない」の 89 人で、21.65%だった。

その他では、「忙しい」、「時間が合わない」という回答が多く、他には「興味が無い」、「まだそのような機会がない」という回答があった。

問 19 あなたは地域活動やまちづくりの活動に参加したいと思いますか。

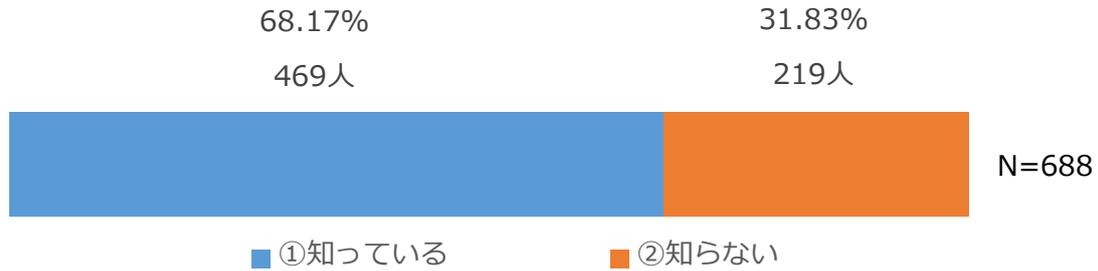


「ぜひ活動に参加してみたい」「興味がわくものであれば参加してみたい」と回答した方が、合計 513 人で、回答者の 74.56%が、地域活動に参加したいと思っていることが分かった。

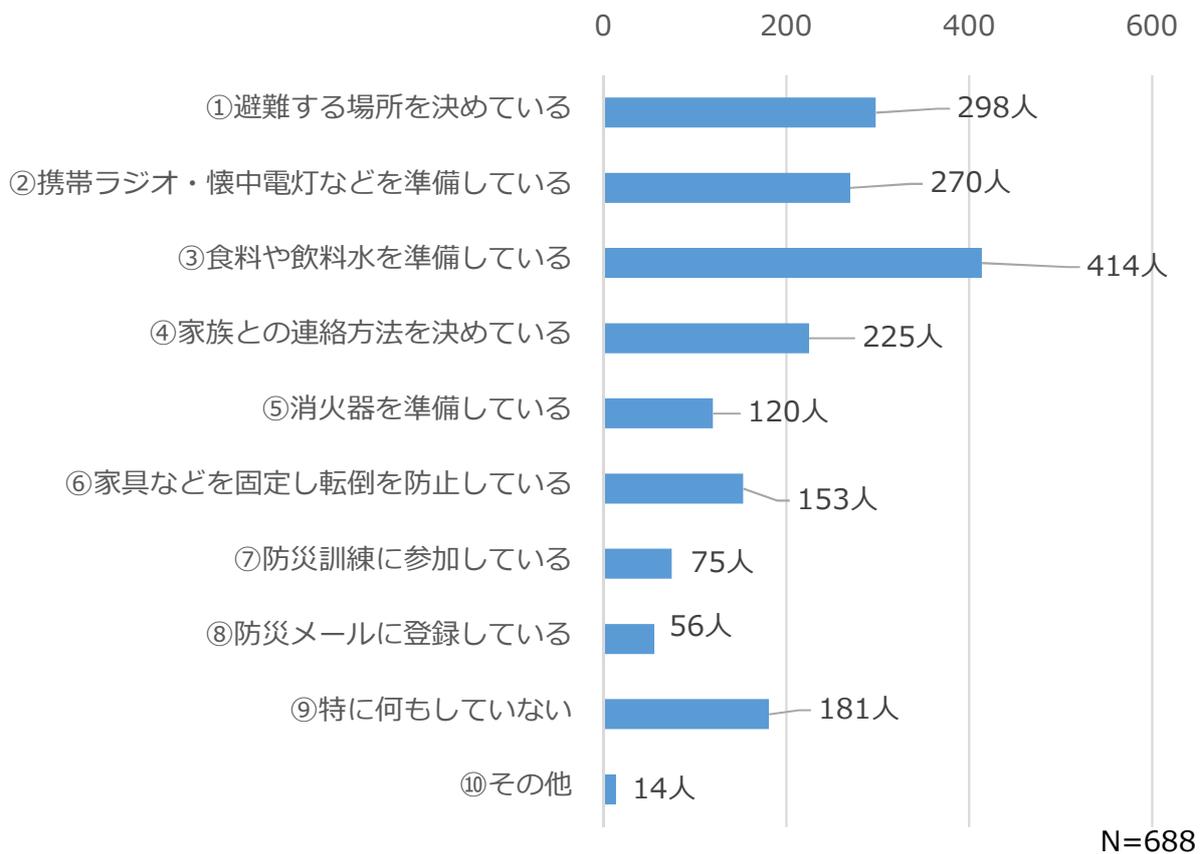
問 20 どのような活動があったら参加してみたいですか。（自由記述）

内 容	回答数
お祭り	29
スポーツ（運動会、サイクリングを含む）	20
清掃活動	19
文化的なイベント（美術・音楽・映画・季節のイベントを含む）	13
ボランティア	8
防災訓練、救急対応	7
言語交流イベント（自国の言語を教える、日本語を教える）	7
こどもが楽しめるイベント	7
自国の文化に関するイベント	6
料理イベント（料理教室を含む）	6
日本の文化を学ぶイベント	5
高齢者支援	4
その他	20
合 計	151

問 21 地震や台風などの災害のときに避難する場所を知っていますか。



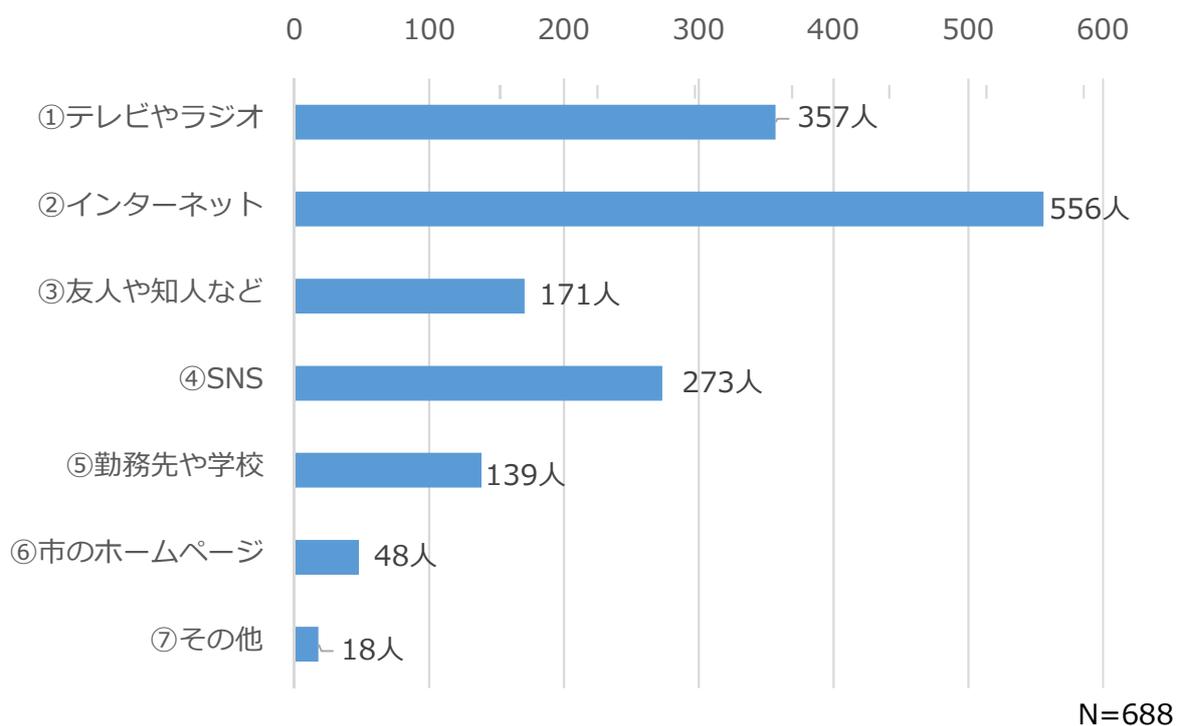
問 22 災害時のために備えていることはありますか。(複数回答)



「食料や飲料水の準備をしている」回答した方が414人で1番多く、回答者の60.17%だった。2番目は「避難する場所を決めている」の298人で、43.31%、3番目は「携帯ラジオ・懐中電灯などを準備している」の270人で、39.24%だった。一方、「特に何もしていない」と回答した方は、181人で、26.31%だった。

その他では、「防災バッグ」、「緊急用トイレ」、「毛布・食材等」などの回答があった。

問 23 台風や地震の情報はどこから得ていますか。(複数回答)

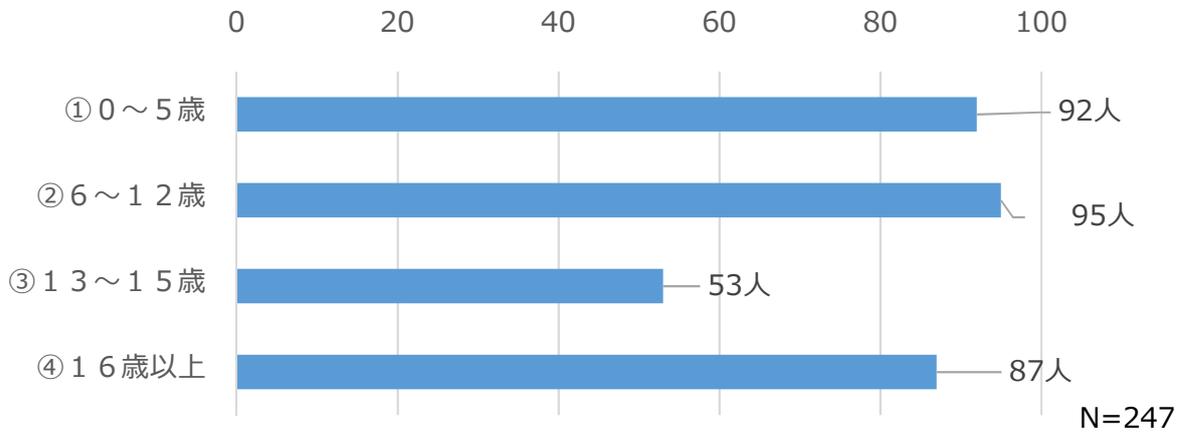


「インターネット」と回答した方が 556 人で 1 番多く、回答者の 80.81% だった。2 番目は「テレビやラジオ」の 357 人で、51.89% だった。

その他では、「スマホアプリ」、「大使館」、「職場」、「大学」、「家族」、「教会」という回答があった。

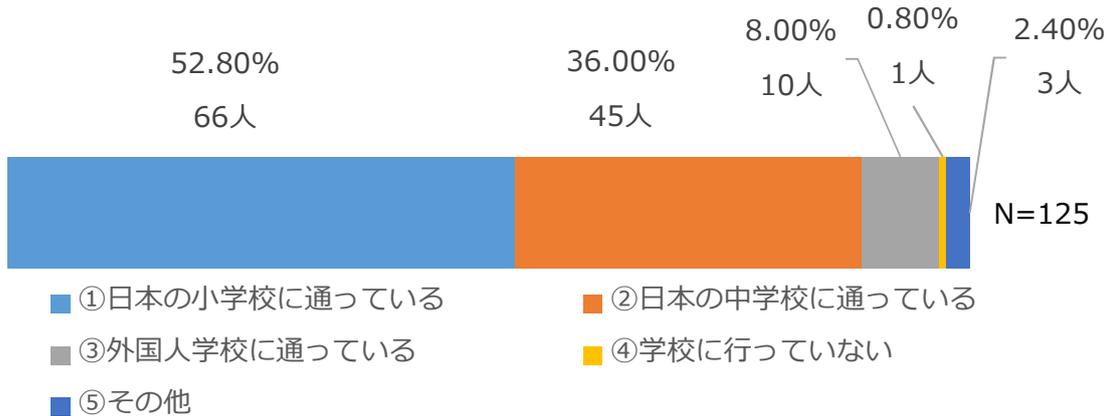
【子どもの教育について】 ※子どもと一緒に住んでいる人が回答

問 24 子どもと一緒に住んでいる方：一緒に住んでいる子どもの年齢を教えてください。
(複数回答)



「6～12歳」と回答した方が95人で1番多く、回答者の38.46%、2番目は「0～5歳」の92人で、37.25%だった。

問 25 小学生、中学生の子どもと一緒に住んでいる方：あなたの子どもが通っている学校を教えてください。(複数いる場合は、年齢が一番高い子)



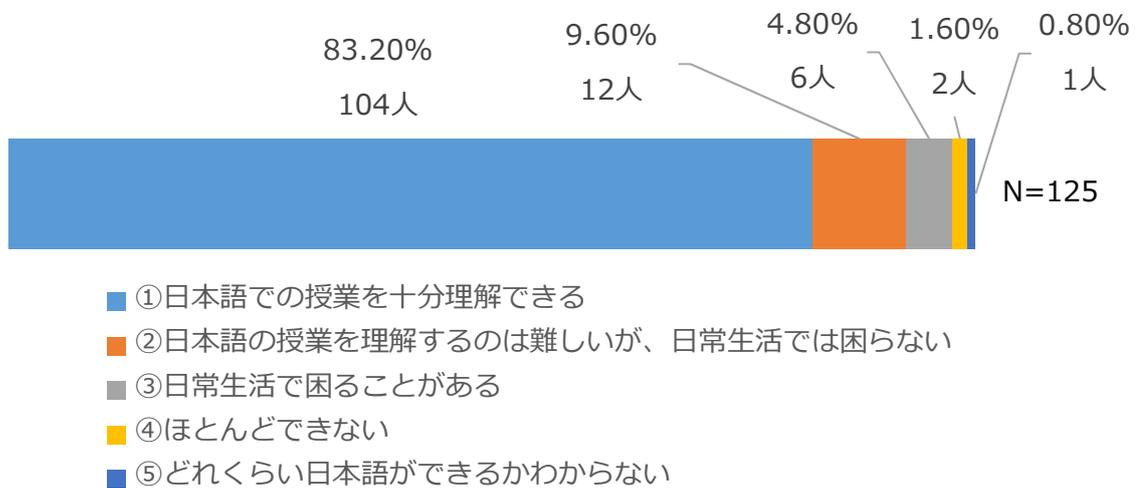
「日本の小学校・中学校に通っている」と回答した方が111人で1番多く、回答者の88.8%だった。その他3人の内容については、未記入だった。

問 26 小学生、中学生の子どもと一緒に住んでいる方：あなたは、子どもの学校の通知や、先生からの連絡をどのくらい理解していますか。（複数いる場合は、年齢が一番高い子）



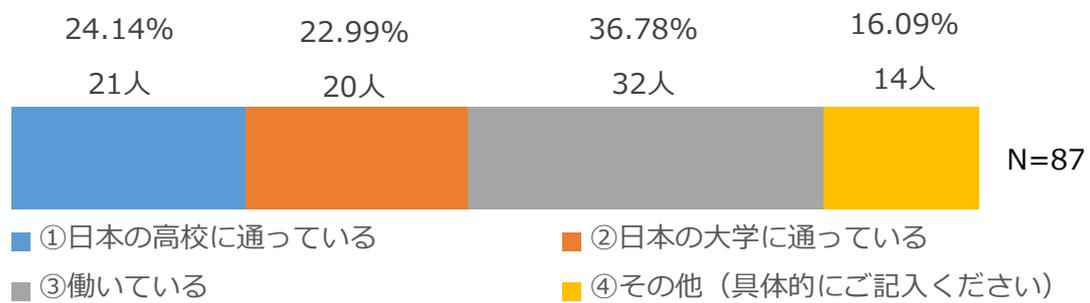
「十分理解している」と回答した方が 81 人で 1 番多く、回答者の 64.8% だった。

問 27 小学生、中学生の子どもと一緒に住んでいる方：あなたの子どもは日本語がどのくらいできますか。（複数いる場合は、年齢が一番高い子）



「日本語での授業を十分理解できる」と回答した方が 104 人で 1 番多く、回答者の 83.2% だった。

問 28 16 歳以上の子どもと一緒に住んでいる方:子どもが通っている学校を教えてください。
(複数いる場合は、年齢が一番高い子)

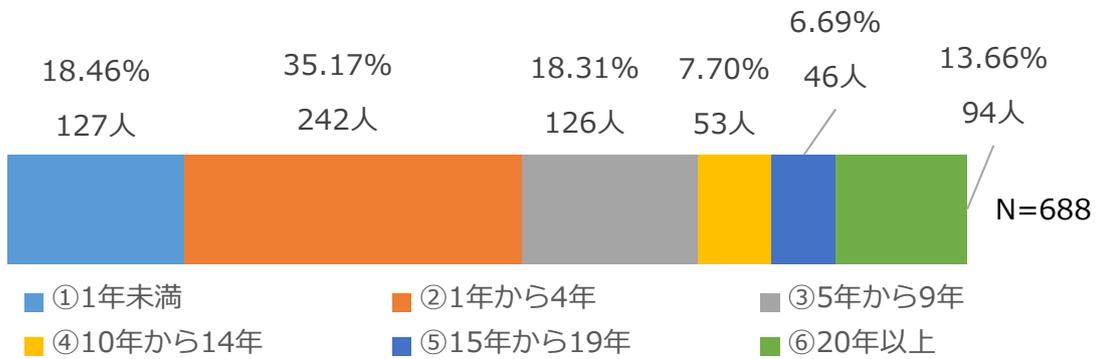


「働いている」と回答した方が 32 人で 1 番多く、回答者の 36.78%、2 番目は「日本の高校に通っている」の 21 人で、24.14%だった。

その他では、「インターナショナルスクール」、「専門学校」、「アルバイト」などの回答があった。

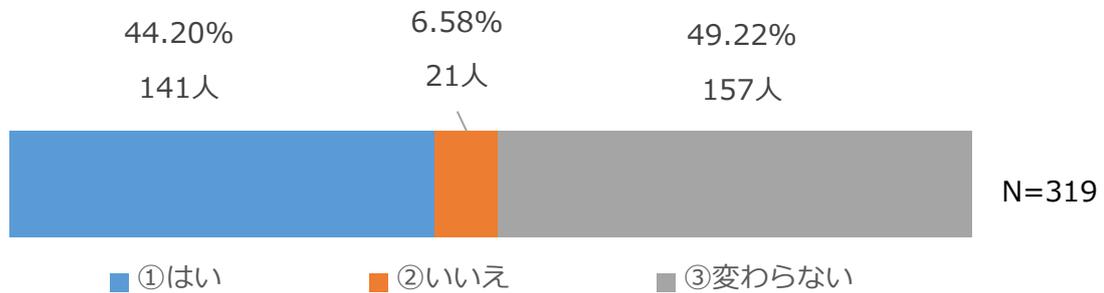
【浦安市について】

問 29 浦安市に何年住んでいますか。

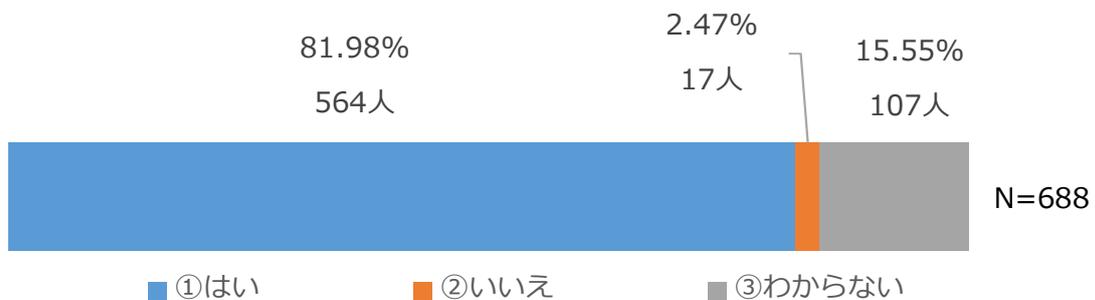


「1年から4年」と回答した方が242人で1番多く、35.17%だった。一方「20年以上」と回答した方は、94人で、13.66%だった。

問 30 浦安市に5年以上住んでいる方：5年前と比べて浦安市は住みやすくなりましたか。

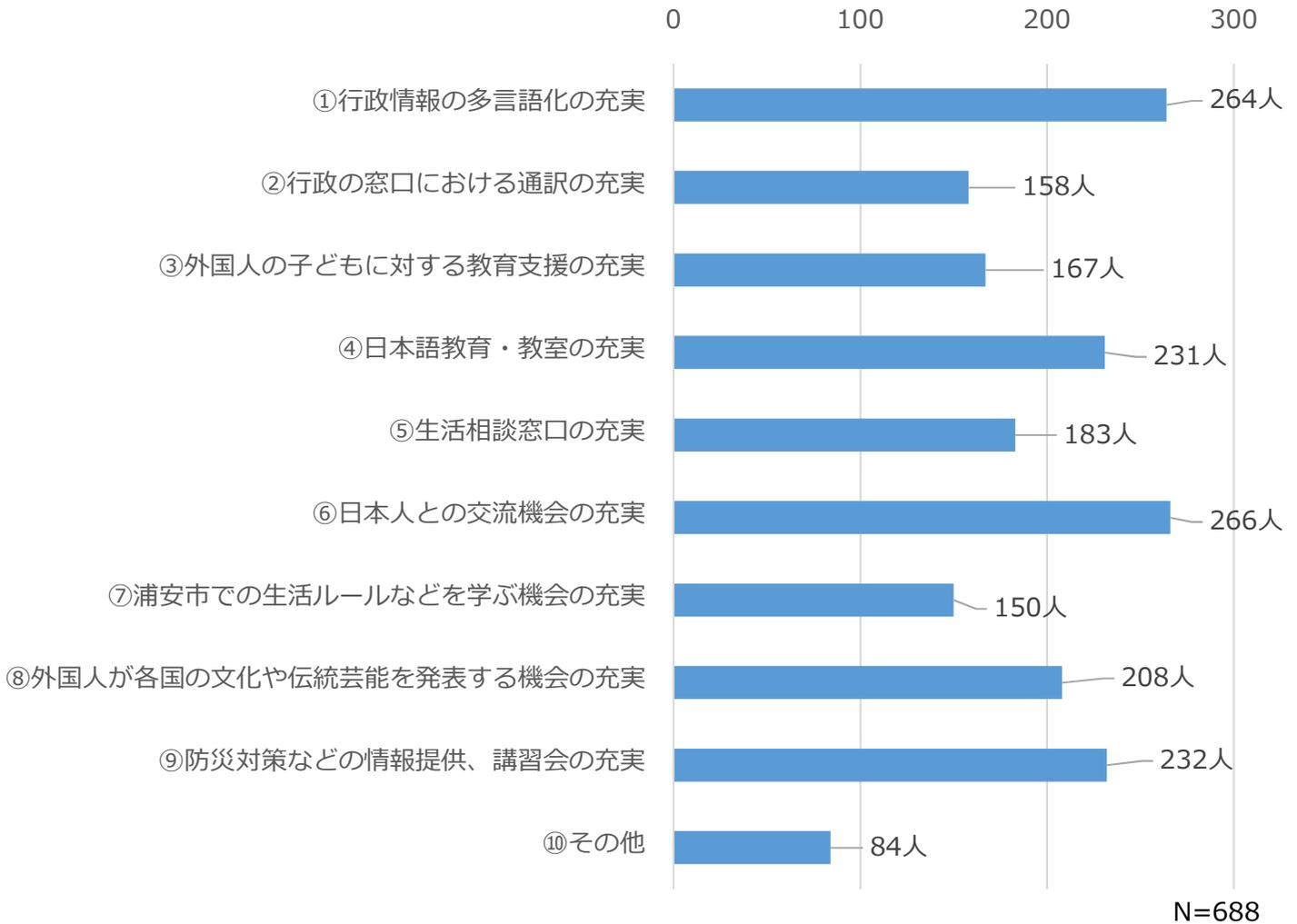


問 31 これからも浦安市に住み続けますか。



「はい」と回答した方が564人で1番多く、81.98%であり、ほとんどの方が住み続けたいと思っていることが分かった。

問 32 浦安市に対してどのようなサービスを望みますか。(複数回答)



「日本人との交流の機会の充実」と回答した方が 266 人で 1 番多く、回答者の 38.66% だった。 2 番目は「行政情報の多言語化の充実」の 264 人で、38.37%、3 番目は「防災対策等の情報提供、講習会の充実」の 232 人で、33.72% だった。

その他では、「解決が難しい問題へのサポート（法律、医療、税金など）」、「住居を探すサポート」、「医療での通訳、英語サポート」、「精神的なサポート・ヘルスケア」、「家計の支援」などがあった。

6 まとめ

アンケートの結果から、「生活支援」では、生活に困った際の相談先として、同国籍のコミュニティよりも日本人の友人や市役所が多かったことから、外国人市民が地域に根差した生活を送れており、日本人市民と外国人市民とが互いを支え合う関係の構築が進んでいることがわかりました。

また、「多様性を認め合い、誰もが活躍できる地域づくり」では、地域活動に参加したことがある方が約4割、参加を希望する方が約8割にのぼり、多くの外国人市民が機会があれば地域活動や街づくり活動への参加を望んでいることがわかりました。

総合的には、これからも浦安に住み続けたいかとの問いには約8割の方が住み続けたいと回答していることから、生活支援や多文化共生を認め合う地域づくりなどの前半期の各取組が効果的に推進されていると考えられます。

これらのことから、今回の中間期では主要な取組の見直しは行わず、引き続き、誰もが安心して暮らし、活躍できる多文化共生社会を目指して事業を推進していくこととしました。

浦安市多文化共生に関する意識調査結果

発行・編集 浦安市 市民経済部 地域振興課

千葉県浦安市猫実一丁目1番1号

発行年月 令和7年（2025年）3月